

地域活性化に向けた協働取組の加速化事業 過年度事業の状況把握調査（様式）

地方		事業年度	
採択事業名	※複数年度ある場合は、（平成 25 年度）（平成 26 年度）をつけて列記する。		
採択団体名			
ヒアリング相手		記入者	記入日

問 1 - 1 中期計画の実施状況

- ほぼ中期計画通りに継続している。
- 中期計画通りにはいっていないが、継続している。
- 継続していない、休眠状態。
- 協働体制又は中心となる団体が解散した。

問 1 - 2 具体的な実施状況（年度ごとに実績を箇条書きで記載）

- ・
- ・

問 2 - 1 中期計画の実施において、どのような点で協働の加速化やステップアップ、拡がりが見られるか

（ヒト）

- ボランティアの増加  スタッフの雇用  多世代の参加  専門家や研究者の参加  関係性の深化
- 全く新しい出会い  知識や技術の共有

（カネ）

- 寄付の拡大  助成金の獲得  協賛金の拡大  行政との協働連携事業への展開  行政の予算措置
- 費用の分担

（モノ）

- 他組織が所有する施設・設備の利用

（仕組みづくり）

- 行政施策における位置づけ  取組の表彰  情報流通量の増加  共通言語の獲得  対立関係の緩和

（その他）

問 2 - 2 上記の詳細（分類ごとに箇条書きで記載）

- ・
- ・
- ・
- ・

問3-1 中期計画の実施において、どのような点で協働の課題や停滞している箇所が見られるか

(ヒト)

協働を担う人材が不在  関係者の力量不足  地域における人間関係  中心人物の異動

(カネ)

協働を進めるための予算がない  財源の固定化  事業者からの反対  負担の集中  世代の固定化

(モノ)

他組織が所有する施設・設備などが利用できなくなった

(仕組みづくり)

単発的/一過性に取り組みに終わる  ビジョンの共有不足  「協働」に関する認識のズレ

外部の人材との軋轢

(その他)

問3-2 詳細 (分類ごとに箇条書きで記載)

- ・
- ・
- ・
- ・

問4 「環境省 協働取組加速化事業」を実施することによる地域への波及効果  
(間接的に派生した動きなどがあれば記載)

- ・
- ・
- ・